

鼠径部ヘルニアクリニカルパスを高齢者に適用することの妥当性に関する研究

■ 研究の対象となる方

2012年1月～2019年12月に当院で鼠径部ヘルニアの手術を受けた方

■ 目的・方法

当院では成人鼠径部ヘルニア手術を行う際クリニカルパスを使用しています。クリニカルパス（以下「パス」）とは入院中の一連のケアプロセスを標準化したものであり、様々な疾患の治療でこのパスを使用することによって医療の質の向上をはかる取り組みを行っています。以前は鼠径部ヘルニア手術では2泊3日の入院期間を標準としていましたが、在院日数短縮に向けた取り組みとして2017年1月からは1泊2日のパスを運用しています。

昨今の高齢化に伴い、当院で鼠径部ヘルニア手術を受ける患者さんもその半数以上を65歳以上の高齢の方が占めていますが、現在使用しているパスは年齢を考慮せず一律の内容で運用しています。本研究の目的は、過去に当院で鼠径部ヘルニア手術を受けた患者さんのデータを振り返り、現在使用しているクリニカルパスを高齢の患者さんに適用することの妥当性を検証することにあります。

この研究では、全体を65歳以上の高齢者群と非高齢者群の2群に群分けし、パス規定の入院日数の超過率と再入院率、およびその理由を調査・比較します。また、パス改訂前の2016年12月まで（前期）とパス改訂後の2017年1月以降（後期）に期間を分けて同様の検討を行います。結果は医学系の学術集会で発表するとともに、当院のパス内容のさらなる充実・医療の質向上に役立てます。

■ 実施期間

2020年10月28日～2021年4月30日

■ 研究に使用する情報

年齢、性別、基礎疾患の有無、発症から治療開始までの期間、手術の内容、術後の症状など診療の中で得られた情報を使用します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

■ お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	済生会熊本病院 外科 主任医員 辛島 龍一（研究責任者） 住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)
-----	---

以上